

トークライブ-01

Opening Talk Session

宇川直宏 (DOMMUNE / 現在美術家) × 能勢伊勢雄 (写真家 / 美術展企画 / LIVE HOUSE PEPPERLAND主宰)

日時 / 10月12日 (Sat) 15:00-

場所 / メインギャラリー

文化音楽芸術祭のオープニングには、
香川出身の鬼オアーティスト宇川直宏氏と、
岡山を代表するマルチアーティストの能勢伊勢雄氏による
トークセッションをお楽しみください。



トークライブ-02

Local Key - Men's Talk Session

松波雄大 (松山市議会議員) × 奥谷篤巳 (柑橘農家) × 池内計司 (IKEUCHI ORGANIC代表)

日時 / 10月13日 (Sun) 15:00-

場所 / メインギャラリー

開催地、愛媛の代表文化である、
柑橘、タオル、アートのそれぞれのシーンから、
活躍が際立つキーマン3名が登場。
愛媛・松山の文化を存分に語っていただく
スペシャルなトークセッションです。



瀬戸内アトライト

瀬戸内の海を望む美しい自然とアートを自転車で繋ぐ、宮澤崇史プロデュースによるライドツアー。景色、ローカルフード、少々の坂を味わうライドの後は、山の頂のアート空間へ。

日時／10月13日 (Sun) 集合時間／8:30 出発時間／9:00

集合場所／道後温泉駅 到着時間／15:00予定 走行距離／約80km

参加費／15,000円

(参加費に含まれるもの／イベント入場料、ライド中の昼食 & ドリンク、青風館内での夕食ビュッフェ&ワンドリンク)

※別途ご予約が必要となります。

ご予約はチケット購入ページから、「瀬戸内アトライト参加チケット」をご購入ください。

ライド中はサポートカーが帯同して皆様の安全を確保し、また皆様の荷物をお預かりいたします。

また疲れた時にはいつでも自転車を預けてサポートカーにお乗り頂けます。

サポートカーにはポンプ、クーラーボックスを積載しています。

帰りは道後温泉まで送迎サービスがあります。

ライドには自らサイクリストでもあるフォトグラファーの丹野篤志氏が帯同し、

アトライトの景色やライダー達を撮影いたします(作品は購入が可能です)。

【持ち物】

自転車、通常のライドの装備、パンク修理キット、水着、タオル、着替え一式(カジュアルで結構です)、笛(百均で売っているもの)、携帯用の輪行袋(運搬のためですが、あれば結構です)

【ご参加にあたっての注意】

- ・パンク修理キットをお持ちください(クリンチャー、チューブラーの対応も含め)
- ・事前に自転車保険の加入をお願いいたします

※小雨決行

荒天時は、瀬戸内リゾート青風内にて、宮澤崇史氏による特別トレーニングプログラムを実施いたします。



宮澤崇史 (自転車ロードレース 2008年 北京オリンピック代表)

映画上映 × アーティストトーク (対話形式)

瀬戸内リトリート青風のシグネチャースイート、THE AONAGI SUITEが映画館に。
上映後には監督との特別なトーク（対話）もお楽しみいただけます。

能勢伊勢雄監督作品

1975年制作・1995年山形国際ドキュメンタリー映画祭、2017年京都国際映画祭上映作品

『共同性の地平を求めて 68/75 荻原勝ドキュメント』

日時／10月12日（Sat） 19:30-上映 ※上映後、監督とのトークセッション・参加者との対話形式

場所／青風スイート 特設会場

映画『共同性の地平を求めて』は、1960年代後半、
岡山大学でも学生運動の嵐が吹き荒れる中で出会った、荻原勝氏という一人の
教官の生きざまを追いながら、能勢氏自身の生と交錯させて描いています。
人間と社会のあり方、ある社会状況の中で一人の人間はどう生きるのか、
どう生きるべきなのか。
原発事故や近隣諸国との国際問題、米軍基地の問題、日本の情けない政治状況など、
最近の社会情勢の中で不安や不満を抱え、どう考えればいいのか、
どう行動すればいいのか、どう生きればいいのかということは、
多くの人々にとってますます重要な問題になって来ています。
そんなときにこの映画は、多くの考えるヒント、きっかけを与えてくれるでしょう。
(引用：PEPPERLAND スタッフブログより)



能勢伊勢雄

(写真家 / 美術展企画 / LIVE HOUSE PEPPERLAND主宰)



1947年生まれ。山崎治雄氏に師事した写真家。活動の核となるLive House PEPPERLANDを1974年にオープンした。松岡正剛氏が編集したオブジェクト・マガジン『遊』に70年代から参画し執筆などを行う。また、阿木譲編集の『ロック・マガジン』の編集やライターを務めた。そのほか、美術展企画としては『龍の國・尾道-その象徴と造形』（尾道市立美術館開館20周年記念展）の監修や水戸芸術館で開催された『X-COLOR グラフィティ in Japan』展等の美術展企画を行うと共に、シュタイナー派写真家、コンセプチュアル・アーティストとして作家活動でも注目されている。また写真関係ではPhotographers' Gallery企画として『能勢伊勢雄写真展「PORTOGRAPH」』展、奈義町現代美術館にて『能勢伊勢雄写真展』が開催された。映画の分野では1994年、水戸芸術館で開催された「ジョン・ケージ展」にて、8作品が上映され、1995年、山形国際ドキュメンタリー映画祭の“日本ドキュメンタリー映画の格闘-70年代”部門に『共同性の地平を求めて』が撰出上映された。このような多岐に渡る活動の全貌を紹介する展覧会『スペクトル能勢伊勢雄 1968-2004』が岡山・倉敷市連携文化事業として開催された。2018年、福武文化賞受賞。2019年、慶應義塾大学アート・センター作品収蔵。

写真 & 映像展示

瀬戸内リトリート青風のシグネチャースイート、THE AONAGI SUITEにて
四国を代表する写真家/宮脇慎太郎氏と、映像作家/木村銀次氏の映像作品を
ご鑑賞いただけます。



View from THE AONAGI SUITE

日時／10月13日 (Sun) 20:00-22:00

場所／青風スイート

宮脇慎太郎 (写真家 / 香川)



1981年香川県高松市生まれ。
瀬戸内国際芸術祭2016、2019年公式フォトグラファー。
大阪芸術大学写真学科卒業後、日本出版、六本木スタジオなどを経て独立。
大学在学時より国内外への旅を繰り返し2008年、高松に活動の拠点を移す。
辺境と聖性をテーマに生活と密着した風景やポートレートの撮影に取り組ん
でいる。2012年から仲間とBookcafe solowを運営。2015年、日本三大秘境祖
谷溪谷を撮り続けた写真集『曙光 The Light of Iya Valley』をサウダージブ
ックスより出版。活動媒体は『せとうち暮らし』『IKUNAS』『スペクテイター』な
ど多岐に渡る。

日時／10月14日 (Mon) 20:00-22:00

場所／青風スイート

木村銀次 (グラフィックデザイナー/VJ/映像作家/東京)



1981年生まれ、神奈川県出身東京在住
グラフィックデザインを生業としながら、DJとしてアーティストや音楽愛好家達と交流、その周
囲のビジュアル面、フライヤーやCD・レコードカバー、ロゴデザイン、グッズ制作、MVなどを
手掛ける。
近年は世界の未知なる音楽を発掘・紹介するレコードショップ“Organic Music”や、1993年か
ら現在まで続くレイヴ/ウェアハウスパーティ“LIFE FORCE”とDJやデザイナーとして深く関
わり、また映像と装飾を組み合わせるユニット“mixer”のVJとしても
活動、日々様々な音楽イベントに出向いている。そんな日常から得られるインスピレーション
を元にミックステープ、ZINE、アクリルアートなど、視覚と聴覚、平面と立体の横断をテーマに
した作品制作やアーティストとのコラボレーションを行なっている。

ライブペイント

芸術祭期間中、アーティストによる実際の制作風景も間近でご覧いただくことが可能です。

瀬戸内エリアの2名のアーティストによるライブペインティングをご鑑賞ください。



糸事。展より

アーティスト／SUIKO(広島)

場所／メインギャラリー

身体の持つ自然な動きによって生み出される躍動感・生命感のあるダイナミックな表現を得意とするグラフィティ・アーティスト。日本の侘び寂びとヨーロッパの情緒、それに相反する攻撃性をもった配色は、独自の色彩論と評される。年々記録(レコード)を更新しながら大壁画を出現させ、招待された国は15カ国を超える。近年では壁を媒体とした表現にとどまらず、ウォルト・ディズニー、コカ・コーラ、アディダス、ユニバーサル・スタジオなどへもアートワークを提供するなど様々な企業とのコラボレーション/プロジェクトを発表し続けている。

アーティスト／KUROMA(香川)

場所／B1展示室

1995年生まれ。抽象作家。香川県在住。猪熊弦一郎の作品と出会い衝撃を受け、大阪芸術大学芸術学部美術科で油彩を学ぶ。

2018. 01. 06 (sat)～2018. 01. 14 (sun) kuroma個展『瞬きしてるまに』開催

2018. 08. 24 (fri)～2018. 08. 30 (thu) kuroma個展『糸をめぐる』開催

2018. 09. 20 (thu)～2018. 10. 21 (sun) 1ヶ月期間限定不定期アトリエ『アトリエ黒丸』を实地

2019. 03. 17 (sun)～2018. 03. 23 (sun) 個展(糸事展)開催

インスタレーション

会場を彩る、大きなアートインスタレーション。
岡山をベースに全国で活動する装飾家、
能勢聖紅の世界をご堪能ください。

場所／本館メインギャラリー特別展示

能勢聖紅 (装飾家)

デコレーター、ライブペインター、フローリストとして各種イベントシーンで装飾家として活動を行う。43年の歴史を誇るライブハウス『PEPPERLAND』で育ち幼少期から様々な音楽とアートに接した。1996年に最初のデコレーション作品を公開以来、今日までに1000会場を超えるイベントのデコレーションを手掛ける。これらの継続的活動により、国内最大規模の動員数を誇るSUMMER SONICでの作品発表・アートディレクションをはじめ、2005年 スペインで行なわれたROCKET FESTIVALでの作品発表、2013年 岡山県立美術館25周年記念展では、国内初となるデコレーションの美術館展示を行い42mを超える作品を展示。同年、栃木県二期倶楽部で行われた山のシュールでは12mを超えるライブペイントを成功させ、大阪心齋橋CMK galleryにて個展を行う。2016年 日本橋三越本店で行われた倉敷アーツ&ファブリカ展での生花装飾、大分県立美術館での立体作品展示、2018年には 橋の下世界音楽祭にて造景集団某とのインスタレーション展示、沖縄県で行われたゼクシィ25周年プライベートパーティーでの装飾ディレクション、サントリー“六 roku” CMでの生花装飾も記憶に新しい。2018年庭師を中心に構成される『造景集団某(なにがし)』へ入団。数々のアーティストとコラボレーションを重ねる彼女のスタイルは、自身の表現領域を拡げ、現在も全国的な活動を繰り広げる数少ない装飾家である。



舞踊 SUNSET DANCE

青風の象徴でもあるインフィニティープール。

太陽が瀬戸内海に沈む夕暮れを彩る、美のコンテンポラリーダンス。

日時／10月12日 (Sat) 17:30-

場所／本館2階 インフィニティープール

“THE BLUE” 特設会場

86B210 (表現・創作ダンス)



国内外で活動する前衛舞踊デュオ。劇場、クラブ、ストリート、ギャラリーと様々な場所で活動。在仏日本大使館 広報大文化センターのParis-Tokyo Festivalを皮切りにヨーロッパ(フランス、イギリス、ドイツ、チェコ)での活動を始める。現代社会で生きる上での問題や疑問を取り上げて”人間らしく生きる”をテーマにした詩的な作品作りと、感覚的な実験劇場である即興の二つをベースに活動している。

2007年、『DANSER』(フランス)『ballet tanz』(ドイツ)best stage 34のtopに掲載される。共同通信パリ支局よりニュース配信される。2013より、Art Space 呼応co-oh 主催。様々なアートが交流する場所としてオーガナイズも行っている。様々なアーティストとのセッション、写真や映像作品にも出演している。最近ではモノクローム写真の巨匠、Michael Kenna の被写体として彼の大回顧展の作品として恵比寿写真美術館に展示された。



音楽ライブ

芸術祭には欠かせない、音楽。

とっておきのアーティスト陣による特別な音楽ライブを、特別な空間で。

日時／10月12日 (Sat)

18:30-／極楽Shanti



日時／10月13日 (Sun)

17:00-／寺尾紗穂 × 伊賀航



日時／10月14日 (Mon)

17:00-／ミナクマリ × 清水ひろたか

18:00-／渡邊和三郎

19:00-／ cowbells



キッズワークショップ-01

芸術祭期間中、アーティストと一緒に楽しむワークショップも開催。
青風のシグネチャースイート、THE AONAGI SUITEにて、
海を見ながら楽しく制作を楽しみましょう。

※参加には事前予約が必要となります。ご予約はチケット購入ページから
「キッズワークショップ」をご購入ください。無料でご購入いただけます。

苔庭作りワークショップ “テラリウム”

手のひらサイズの瓶の中に土を入れ、
苔や石、ミニチュア人形をレイアウトして作る“苔テラリウム”。
手入れも簡単で、気軽に緑を楽しむことができます。
5歳以上であれば親子での参加もOK。
自分だけの“小さな庭”を作って、緑のある暮らしを楽しみましょう。

日時 / 10月12日 (Sat) 14:30-

場所 / The AONAGI SUITE

対象 / 5歳～小学生 ※6歳以下は保護者同伴

定員 / 10名

持ち物 / 特になし

服装 / よごれてもよい服でお越し下さい



講師 / 小野豊 (愛媛)



巴園主宰。庭師・植物空間演出家。1981年愛媛県生まれ。伊予農業高校卒業。奥本造園(株)で修行後、独立。現在、『作庭集団 庭通路』のメンバーとして活動。イベントでの庭出展・作庭パフォーマンス、講演会装飾などで、庭の魅力を伝える。あらゆる「庭」の可能性を探り、挑戦し続ける。

キッズワークショップ-02

芸術祭期間中、アーティストと一緒に楽しむワークショップも開催。
青風のシグネチャースイート、THE AONAGI SUITEにて、
海を見ながら楽しく制作を楽しみましょう。

※参加には事前予約が必要となります。ご予約はチケット購入ページから
「キッズワークショップ」をご購入ください。無料でご購入いただけます。

音楽ワークショップ “LIFE MUSIC”

生活にあるものと楽器を使って音楽を作ってみましょう！

生活の中にはたくさんの音が聞こえます。

車の音、船の音、お友達の声…テーブルも叩けば音が出ますし、
食べ物を食べる時も音が出ますね。

ピアノやギターは音を出す楽器、とってもきれいな音色が聞こえます。

そんな生活のなかの音と楽器を録音してコードモデザインのCDを作ってみましょう！

ワークショップ当日は曲とCDジャケットを作り、後日郵送予定です。

日時 / 10月14日 (mon) 15:00-

場所 / The AONAGI SUITE

対象 / 小学生

定員 / 10名

持ち物 / 特になし

服装 / よごれてもよい服でお越し下さい



講師 / 渡邊和三郎 (香川)

千葉県生まれ、香川県在住。

石、木、砂などの自然物、環境音、多様な楽器などを用いた音楽制作をしている。音響ユニットtoritohitoで瀬戸内国際芸術祭2010のPV音楽を担当。ユニット解散後、ソロで音楽、空間、絵画などの作品展示、ワークショップを行っている。同時期にタブラ奏者、井上真輔と”aotof“を開始。各地でパフォーマンスをしている。札幌国際芸術祭2014「都市と自然のサウンドコンペディション」グランプリ受賞。瀬戸内国際芸術祭 2016 てとあし/tetoashi「ドリフトライン」参加。マチトソラ芸術祭参加。映像音楽、立体作品への楽曲提供、コンテンポラリーダンスとの共演など多数。2018年ファーストアルバム「Cycling」を発売。

MUSIC LOUNGE & BAR

Setouchi Retreat Culture Music Art Festival

空間を彩るジャンルを超えた音楽。

プールサイドの特別ラウンジでは、3日間の開催期間中、良質な音楽が鳴り止むことはありません。

DJ陣が作り出す音と、映像作家の作り出す映像がコラボレーションした空間をお楽しみください。

日時／14:00-22:00 場所／本館2階

10月12日 (Sat)

YAMA (PRHYHM/大阪)

pAradice (LIFE FORCE/岡山)

GEEE (bohemian/岡山)



10月13日 (Sun)

The Human and Asset (Kin-Ben Label/愛媛)

DJ KENNTA (Time&Space/東京)

矢部直 (United Future Organization/東京)



10月14日 (Mon)

矢部直 (United Future Organization/東京)

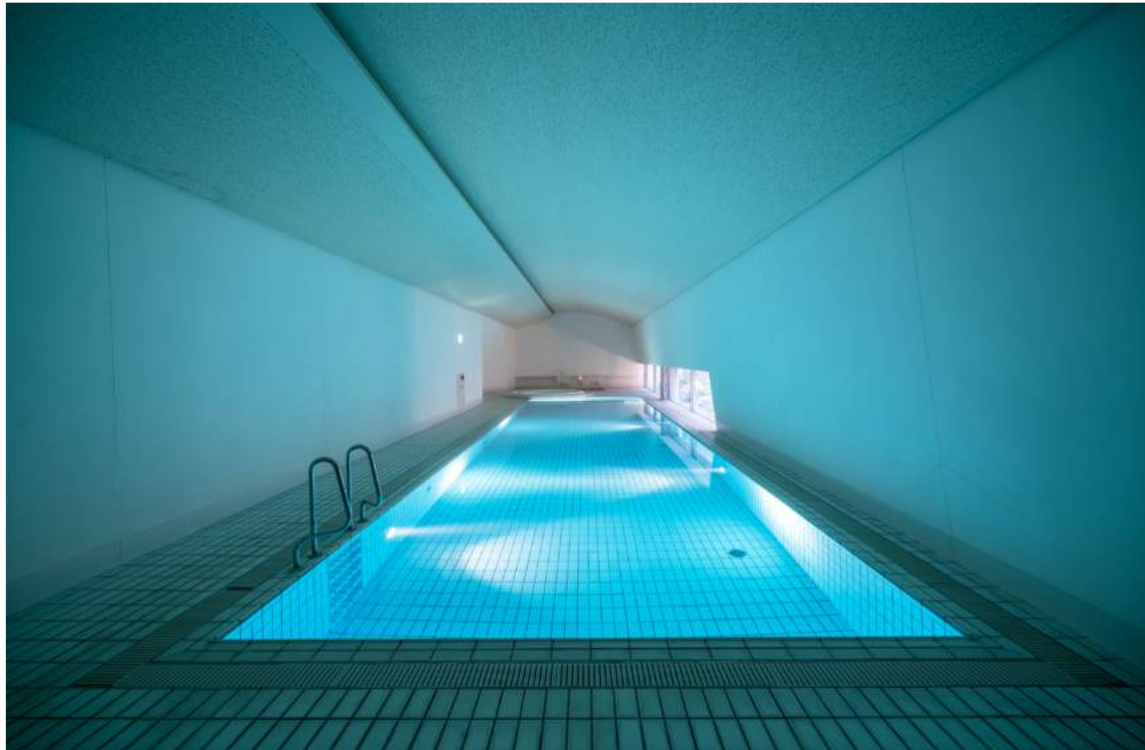
Fragrantriver (Antical/香川)

吉成太一 (瀬戸内リゾート青風/愛媛)



アートプール

瀬戸内リトリート青風のプライベートプール“THE CAVE”が、イベント期間中は音楽と映像を取り入れたアートな温浴施設としてご利用いただけます。温泉ジャグジーや、サウナも利用可能です。水着をお忘れなく。



映像&音楽／木村銀次（東京）

利用時間／14:00-22:00
施設／15m温水プール、温泉ジャグジー、ドライサウナ
利用料金／無料(入場料に込み)
レンタルタオル／1,000円(1枚)
※レンタル水着はございません。必ず水着(とタオル)をご持参ください。

出店

芸術祭期間中は、館内での飲食も可能です。

カジュアルビュッフェやBAR、そして特別なCoffee Shopが登場します。

FOOD & DRINKS



本館 B1 レストランスペース

営業時間／17:00-21:00

カジュアルビュッフェ (和食)

フードワンプレート／1,000円

おつまみプレート／1,000円

本館2F カジュアルBAR

営業時間／14:00-22:00

各種ドリンク／500円～

COFFEE



ハレとケ珈琲(徳島)

日本三大秘境 徳島・祖谷の山間部に佇む出合小学校の廃校をリノベーションし、ハレとケ珈琲として本格的なコーヒーやピッツァ、洋菓子を提供。珈琲は全てスペシャルティコーヒー豆を自家焙煎。ハンドローストと少量ずつの遠赤外線ロースターによる深煎り専門。酸味が消え、甘みが出てくるタイミングを見極め品種ごとに調整。抽出は丁寧にハンドドリップで。青風と親交も深い焙煎士・バリスタの青木が、究極の一杯をお淹れしに参ります。